

令和七年栃木県支部総会俳句大会成績

日時 令和七年七月二十一日(月・海の日)
場所 栃木県総合文化センター

能村研三特選(本部選者)

落椿そのくれなるを地の糧に

森戸 光子

赤貧も赤心も知る夾竹桃

岩瀬とき子

更衣こころを青き風過ぐる

加藤 季代

大高松竹特選

風死すや湖の山容確と見せ

赤川 雅彦

平手ふじえ特選

花筏逡巡として雨の中

加藤 季代

蓮實淳夫特選

初燕ぼんと靴跳ぶ逆上がり

飯塚 キミ

落合惑水特選

気を付けの号令の声チューリップ

水沼 泰章

亀田やす子特選

春光や窓全開の朝稽古

北條 町子

本多芙美子特選

茅花流し海へ祈りの鐘を打つ

山岸 修児

星揚子特選

短夜の闇のどよめき牛産る

大高 松竹

五十嵐藤重特選

ひとり吹く喧嘩の後のしやぼん玉

星 揚子

伊藤幹哲特選

白日傘母子の影をひとつにし

五十畑悦雄

岩瀬とき子特選

黴臭き埃の史実ちちの手記

星野えり子

岡田 幸子特選

水匂ふ空のまほらを飛燕かな

大貫 良明

加茂都紀女特選

辛夷咲く父の肌着に名を書きて

星野乃梨子

小薮敏夫特選

俎板に飴切るリズム夏近し

岩戸志津枝